

令和8年度 第1回社会教育委員会会議録

日 時 令和8年7月2日（木）9時30分から11時30分

場 所 加西市民会館 3階 グループ活動室

委 員 委 員 長 松尾 弥生

副委員長 高瀬 由美

委 員 河合 新一

委 員 菅野 孝二

委 員 常峰 修一

事務局 教 育 長 菅野 恭介

教育部長 伊藤 勝

生涯学習課 課長 北島 悦乃

生涯学習課 課長補佐 増田 浩和

生涯学習課 主査 後藤 潤

オークタウン加西 館長 山田 明

善防公民館 館長 吉村 靖

1. 開会（事務局）

2. 社会教育委員長あいさつ（委員長）

最近の傾向として、今までの「与えられたものを学ぶ」という形から、自身の「やりたいこと」を叶えるための学びを求める人が多くなっているように感じます。

先日、三木市にオープンした「ひととき三木」は、チャレンジショップが併設されている施設です。1週間単位でお店を借りて物販ができるほか、調理や会議ができる場所、子供たちの居場所や学習スペース、子育て中のママたちが使えるスペースなど、「こういうものがあればいいよね」という機能が凝縮されています。企業と三木市が協力してオープンさせたそうですが、こういう場所が充実すると、定住促進などにも繋がってくるのではないかと思います。小野市でも「自分のやりたいを叶える」という講座がありますが、相談機能や後押しをしてくれる場所がなく、仲間づくりへの支援が不足しているという課題があります。公民館の講座においても仲間づくりは大事な部分だと思っています。

新しい施設ができた時はできる限り見に行くようにしています。本日の会場であるこちらの施設も、テーブルや椅子が軽いものになり使い勝手が良くなりました。ただ、実際に使ってみると「プロジェクターを使うのに暗幕がない」ことに気づき、慌てて暗幕がある部屋に変更したということもありました。私たち社会教育委員は、実際に利用している方々の「こうすると使い勝手がいい」「こういう機能を

備えてほしい」という声を拾い上げ、事業への提言や施設への要望を届けることが一つの仕事だと思っています。皆さんと一緒に頑張っていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 教育長あいさつ（教育長）

おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。社会教育とは、法律上は「家庭教育と学校教育以外の部分を担う教育」ということになりますが、本市における現状を考えてみますと、公民館や図書館、オークタウン加西の活動、そしてこの社会教育委員の会については教育委員会が担当しています。

一方で、sora かさい、勤労者体育館や市民会館、加西市文化連盟、スポーツ協会などは文化スポーツ課が担当し、男女共同参画についてはまちづくり課が担当するといったように、様々な課に分散しています。構造的に、一つの課が一括して社会教育全般を受け持つ形にはなっておりません。

しかし、私はそれが悪いことだとは思っておらず、様々な課がそれぞれに取り組み、そこに重なりが出てくることで、市民の皆様の多様なニーズに応えられる内容になっているのではないかと考えています。オークタウン加西においても、子ども向けに楽しい取り組みをたくさんしていただいております。それぞれの施設が自らの役割をしっかりと果たしながら、事業をブラッシュアップしていくことが大切です。

ただ、完全にバラバラになってしまうと上手く整理ができないため、組織のネットワークを整理し、それぞれの役割を見直しながら方向性を提言していければと思っています。

本日は有意義な話し合いになることを期待しております。よろしくお願いいたします。

4. 報告事項

（1）令和7年度社会教育活動の実績について

～生涯学習課より説明～

（委員 A）

社会教育推進員研修会で委員の方から質問等ありましたか。

（委員長）

質問というよりも、各地域の活動状況、成功事例等の情報交換を推進員がお互いに傾聴、確認を行うことが中心でした。

（委員 A）

社会教育推進事業補助金の申請は 18 団体のみだったのでしょうか。

（事務局）

今年度から実績報告の提出書類を簡素化し、領収書等を地域で保管していただくよう変更しました。申請しやすくなったため、補助金の活用増加に期待しております。

(教育長)

社会教育推進員の役割は各町で状況が異なっています。役割がある町はいいが、名前だけで役割がない町は、区長の負担になっている場合もあるため、全体的なあり方を考えていく必要があります。

(委員 A)

去年のアンケート結果にもその傾向が表れていますね。

(委員 B)

住民人権学習「まちかどフォーラム」では、推進員に司会を依頼しており、役割があります。依頼する立場としては、社会教育推進員さんはありがたい存在です。

(委員 C)

私は学校教育の立場ですが、7年度実績報告から、社会教育や生涯教育の観点で進められている取組みがたくさんあることをと見せていただきました。今後のことですが、PTAの所管が生涯学習課へ移管されました。泉小学校の統合もそうですが、2年後には中学校も統合を控えております。それに伴い、PTAのあり方を今後どのようにしていくのかについて、中学校の校長会でも議論をしているところです。具体的な検討がどこまで進んでいるかわかりませんが、社会教育の観点からみると再編後の中学校の校区はかなり広域になります。そのため、早くも廃品回収をどのように行うのか、そもそも実施が必要なのかなど、想像もつかないような課題も出てきております。所管替えになったばかりではありますが、今後の方向性などがあればお聞かせください。

(事務局)

連合PTAでも再編についての話は出ていますが、具体的な内容については白紙の段階で、これから協議していくと思われます。学校現場等と連携し、サポートしていきたいと思います。

(委員 C)

PTAは任意団体であり、会長が毎年変わるため方針がぶれる懸念があります。前職で連合PTA事務局を担当しており、学校現場と保護者といった連携の難しさは承知しておりますが、子どもたちに還元できる方向へまとまるよう、連携をお願いします。

(委員 A)

学校再編により、連合PTA会長会の数も半分以上に減ってしまいますね。

(副委員長)

中学校の会長はいずれ2人になるということですね。

(委員 C)

責任が重くなり、引き受けてくださる適任者がいなくなる懸念があります。

(事務局)

PTAの現状について理解を深めつつ、責任を持って、学校再編が行われる重要な時期を進めてまいりますので、ご指導をお願いいたします。

(委員 B)

明石市で市連合 PTA が解散されたそうです。任意団体ゆえ、他の市町へ波及しないか危惧しています。

(委員 C)

学校単位の PTA は残っているのですか。

(委員 B)

学校単位は残っています。ただ、他市では残っていないところもあると聞いております。

(教育長)

県 PTA 聯合会を抜けただけではないでしょうか？

(委員 B)

県 P ではなく、市連合 PTA をなくしたというお話です。

(事務局)

東播磨・北播磨の連合 PTA の会議でもその話題は出ました。財政面や事業の二重実施等の課題があり、今後のあり方について意見をまとめるようにとのお話がありました。

子ども会も同じように減少傾向にあります。

(委員長)

PTA や青少年団体は任意団体ですが、教育委員会として「こうあってほしい」という思いや方向性を伝え続けることは可能だと思います。

(委員長)

作成いただいた「生涯学習課の活動のあゆみ」、事業の名称や回数、人数などが分かりやすく書かれており、見やすいです。

先ほどの社会教育推進事業の補助金ですが、18 団体と多くの方が申し込んでくださりありがたいと思います。しかし、せっかく補助金があるのに申請しないということは、申請の手間や書き方が分からないなどの問題があると感じます。県でも充実をさせたい事業には書き方の説明会を設けたりしていますが、加西市でも領収書や報告書の書き方を工夫されたと伺いましたので、今年申請がもっと増えればいいなと思っています。

公民館の研修会についても、県の公民館職員研修会などと一緒に記載されてはどうかと思いました。また、出前講座の講師として今は職員の方が行ってくださっていますが、後には文化財サポーターの方たちも研修を受けて出前講座の講師として行く等地域の方の活用は見込んでいらっしゃいますか。

(事務局)

今は学芸員が中心ですが、今後はガイド育成も進め、ふるさと創造会議など地域の方々との連携も少しずつ進めていきたいと考えております。

(委員長)

オークタウン加西の活動について、ご意見や質問をお願いします。

(委員 C)

中学校の理科教員の指導力向上も兼ねて、子どもたちの理科好きを育てようと館長にご協力いただき、学校現場として大変感謝しております。毎年、年間行事に組み込まれており、理科教員も「今年は何にしようかな」と考えながら取り組んでいます。

(事務局)

ドライアイスに触る体験をするなど、子どもたちに本格的な体験をさせており、いつもすごいなと思いながら拝見しております。

(副委員長)

オークタウン加西はすごく使いやすくなっているように思います。使用者の立場からすると、宿泊の場合は貸し切りのような状態になるので、自由に活動できたりプログラムの変更にも対応できたりしてありがたいです。「初めてを体験する」という取り組みも素晴らしいと思います。長期間継続実施している講座については、公民館でできる活動なら公民館への移行を促し、オークタウン加西では、どんどん新しい体験を増やしていくと素晴らしいと思います。

(委員 B)

特性をもった参加者の受け入れについて、地域福祉課と連携をしてオークタウン加西側の負担を軽減できる仕組みができないかと感じました。

(オークタウン館長)

事前に情報があれば、連携できるのですが、当日初めて把握するケースが多く課題となっております。

(事務局)

オークタウン加西には登録グループ制度がないため、公民館での自主活動へ移行していただきたいのですが、利用者からはオークタウン加西での登録を求められます。

(教育長)

オークタウン加西で登録グループを作ってはどうか。

(オークタウン館長)

公民館行事や会議等の負担を避け、オークタウン加西を選ばれている現状があります。また、貸館での自主運営を提案しても、なかなか受け入れていただけない現状があります。

(事務局)

難しい課題ですが、オークタウン加西ならではの活動ができるよう、働きかけを続けてまいります。

(委員長)

登録グループにならずに貸館のみで活動できるといいですね。

(オークタウン館長)

貸館への移行を進めてはいるのですが、現在のままオークタウン加西の講座の形式がいいとおっしゃり、なかなか進みません。

(事務局)

自主運営となると部屋代や講師料が自己負担となることも要因のひとつです。

(委員 A)

公民館も同様の状況です。公民館まつりや年に数回の会議など行事参加は避けたいが、登録グループのメリットは欲しいと考える方が多くいらっしゃいます。若い団体などは理解されており、割り切ってしていただきますが、高齢者の方々は難しいです。

(委員長)

オークタウン加西のリネン代の改訂は大きな改革でしたね。一方で、宿泊目的のみの形骸化した研修室利用は問題だと思います。また、市外の方の利用が 75%とのことですが、市内優先の仕組みはどうなっていますか。

(オークタウン館長)

夏休みの市内社会教育関係団体・学校からの予約は 4 月から先行予約をしております。それでも空きがあり、市外の方の合宿等での利用が多くなっております。

(委員長)

研修室の利用状況はどうですか？

(オークタウン館長)

レギュラーの講座が入るほか、土日を中心に外国人の方のパーティー等で利用されています。

(委員長)

冷房完備など、以前に比べ環境改善していることを市民へアピールしていただきたいと思います。備品など機材の老朽化は問題ないでしょうか？

(オークタウン館長)

成人式等でパンフレットを配布してアピールしております。機材は、統合した学校から譲り受けて入れ替えを進めています。

(委員長)

アドベンチャークラブもオークタウン加西で実施していただいて本当に良かったと思っています。アドベンチャークラブの卒業生がリーダーとして定着するような「リーダー養成」の仕組みがあればいいですね。

(オークタウン館長)

予算や人員の都合上、既存事業を見直さなければ新規事業の立ち上げは難しいのが現状です。

(委員長)

予算等の課題はあると思いますが、実現できれば素晴らしいですね。

(善防公民館長)

～善防公民館の取り組みの報告～

(委員長)

託児の利用状況はいかがでしたか？

(善防公民館長)

託児付きの講座を用意したのですが、申込人数不足で中止になってしまいました。夏休みに親子参加型へ変更して再調整する予定です。

(委員 A)

主催講座を企画する際、公民館同士で事前の打ち合わせなどはあるのでしょうか？

(事務局)

秋の予算要求事務の前に各館長が企画を発表するプレゼン会議を実施し、他館の取り組みを共有しております。

(委員 A)

主催講座から登録グループへと繋がっていくのが一番早い形ですね。

(事務局)

集客できなかった講座は、タイトルの分かりにくさも要因だったと聞いております。魅力的なタイトルの付け方や募集方法は非常に重要だと思いますので、委員の皆様からもアイデアをいただきたいです。講座のタイトルもどこを切り口にするか難しいです。

(委員長)

平日の10:00~11:30の開催でしたが、土曜日開催だと結果は違っていたのではないのでしょうか。

(善防公民館長)

平日午前中の開催だったため、参加できなかったというお声もいただきましたので、次回は夏休みの土曜日に開催するようにしました。

(委員 A)

曜日と時間帯の設定は本当に難しいですよ。遅い時間にすると高齢者が参加しづらくなります。

(副委員長)

高齢者の方は平日午前、若い世代や子育て世帯は土曜日が参加しやすいですね。

(善防公民館長)

講座に参加していただくには、生涯学習課や他の館からもアドバイスをもらう横のつながりが、気づきにつながり、次の企画のヒントになります。事前の情報交換の重要性を感じています。

(委員 C)

中学生が公民館活動や公民館まつりに参加し、地域と触れ合えるのは非常によい機会だと思います。また社会体育で公民館を使わせていただくことがあるが、夜間管理のシルバーの方が気さくな方でいい雰囲気を使わせてもらっています。

(委員長)

公民館登録グループの人数減少に対しては、講座参加者へ呼びかけて登録グループを増やしてはいかがでしょうか。

(善防公民館長)

継続講座はリピーターからの口コミで広がるため、良い雰囲気重要です。貸館へ移行したグループもありますが、講座参加者へ継続して声をかけていきます。

(副委員長)

社会福祉協議会ではコミュニケーション麻雀のリーダー養成を行われています。その方々に公民館のグループリーダーをお願いするのも一つの方法ですね。

(善防公民館長)

昨年活動されていた方が、指導者やお手伝いとして関わってくださっている事例もあります。引き続き人材育成を進めてまいります。

(委員長)

たくさんのご意見ご提言をいただきありがとうございました。

(事務局)

～連絡事項～

5. 閉会

(副委員長)

本日は長時間にわたり、お疲れさまでした。様々な場面・お立場でご意見をいただきありがとうございます。「公民館への誘い」もタイトルや表現の工夫が見られ、ありがたいと思います。各施設の環境なども「公民館への誘い」など広報を通じて、市民に伝わってほしいと思います。今後はさらに学校・地域・公民館の連携が広がり、社会教育の場が充実していくことを願っています。子どもの情報誌も見ながら楽しそうと思います。広報が一番苦勞するところであります。現在は公的なイベントのみの掲載ですが、民間のイベントも載せてほしいなあという要望も込めて、これで終えたいと思います。